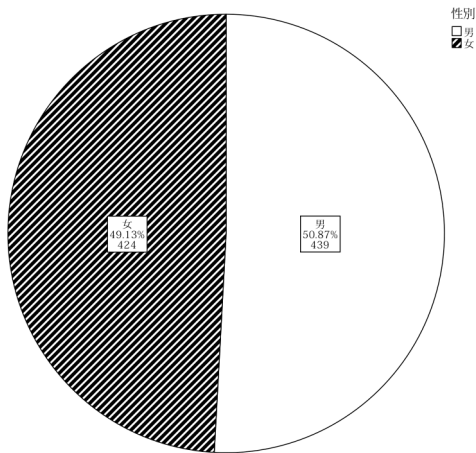


2. 結果

1) 回答者の属性

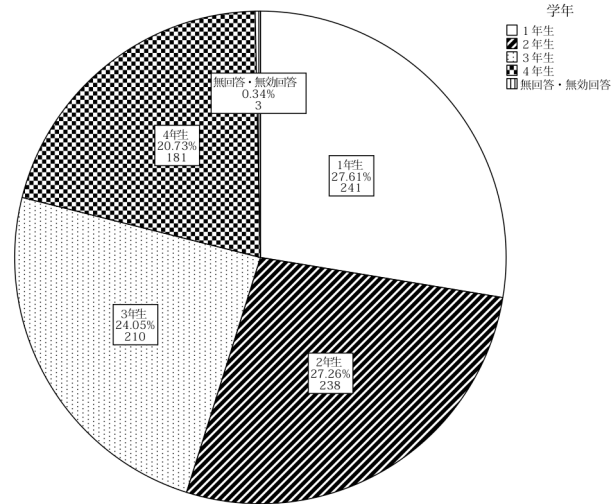
①性別



男女の割合はほぼ同じ。

(男 50.9%、439名；女 49.1%、424名)

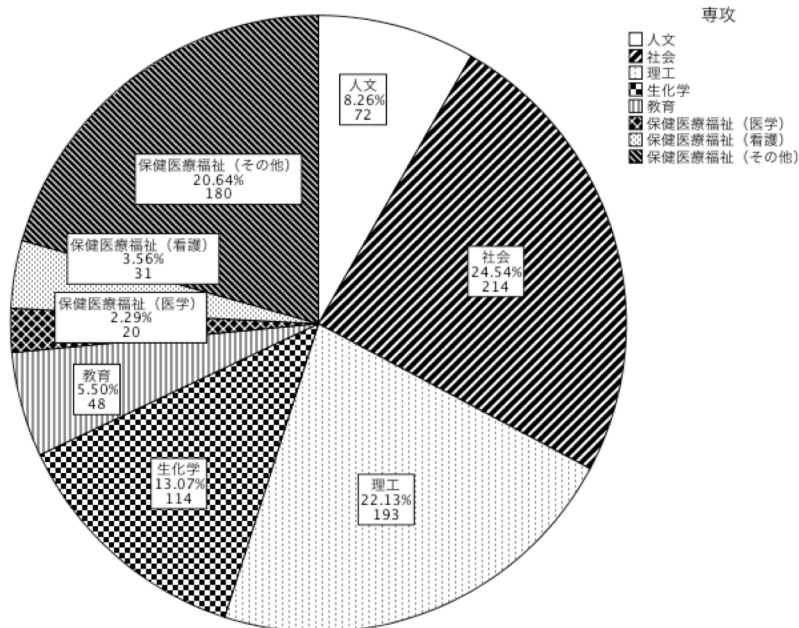
②学年



学年についても割合は均一。

(1年生 27.6%、241名；2年生 27.3%、238名；3年生 24.1%、210名；4年生 20.7%、181名)

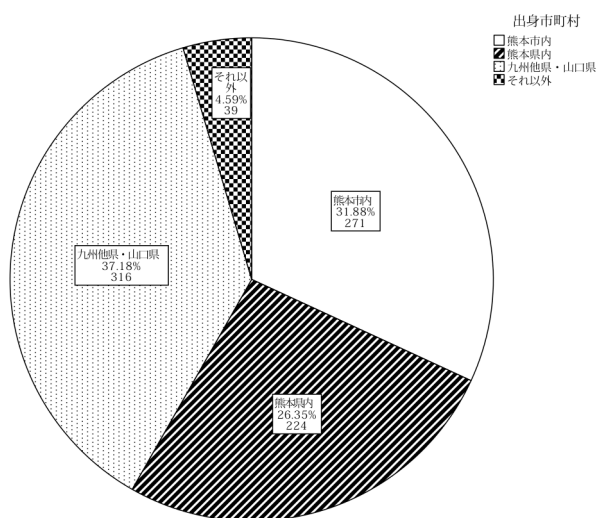
③専攻



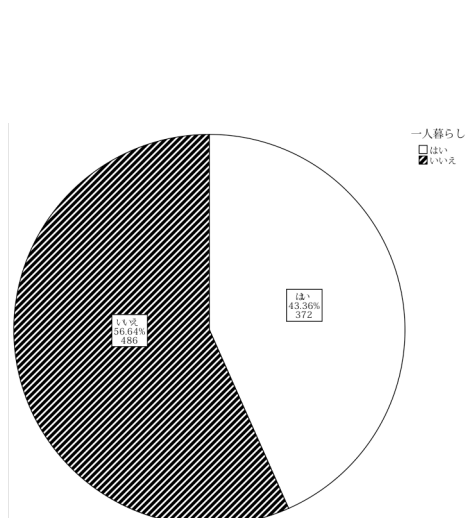
専攻は回答者が記述式で記入した所属学部・学科を基に判断してコード化した。「保健医療(その他)」には検査技師、歯科技工士、歯科衛生士、作業療法士などを養成する学科所属の場合が入る。社会系、理工系、保健医療福祉(その他)が多い。

(人文系 8.3%、72名；社会系 24.5%、214名；理工系 22.1%、193名；生化学系 13.1%、114名；教育系 5.5%、48名；医学系 2.4%、21名；看護系 3.6%、31名；保健医療福祉(その他) 20.7%、180名)

④出身地

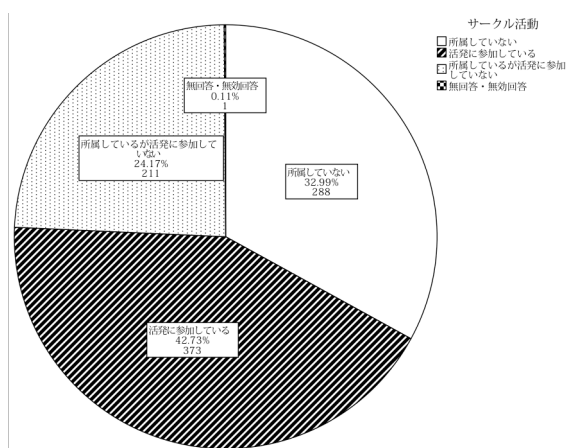


⑤一人暮らしかどうか

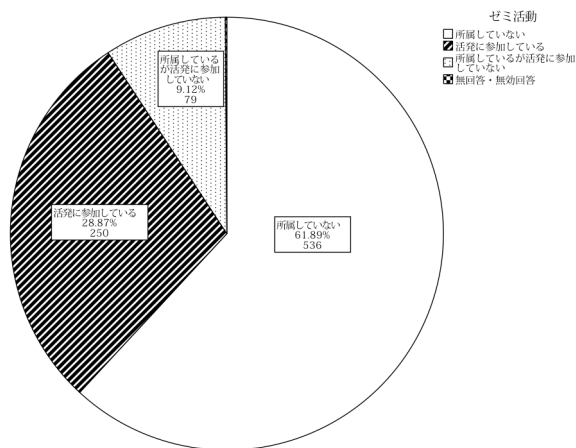


熊本県内出身者が58%（495名）を占める。九州各県および山口県を含む近県出身者は、37%（316名）であった。一人暮らしをしている学生は44%程度（372名）であった。

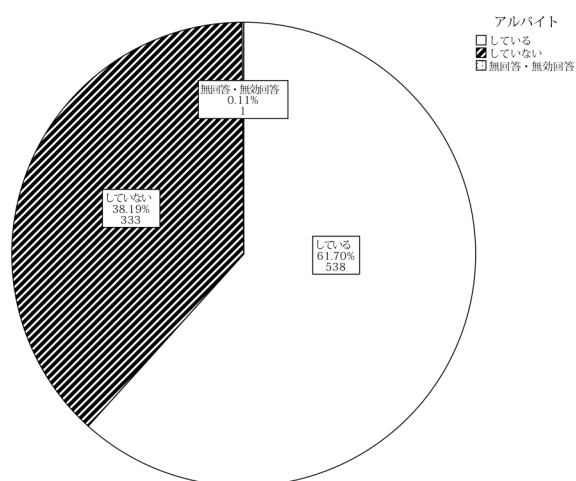
⑥サークル活動



⑦ゼミ活動



⑧アルバイト



活発な参加かどうかを問わずサークル活動に所属している回答者は約67%（584名）であった。ゼミ活動は、1、2年生も含まれるため、所属している学生は4割弱であった。

約62%（538名）の回答者がアルバイトをしていた。